

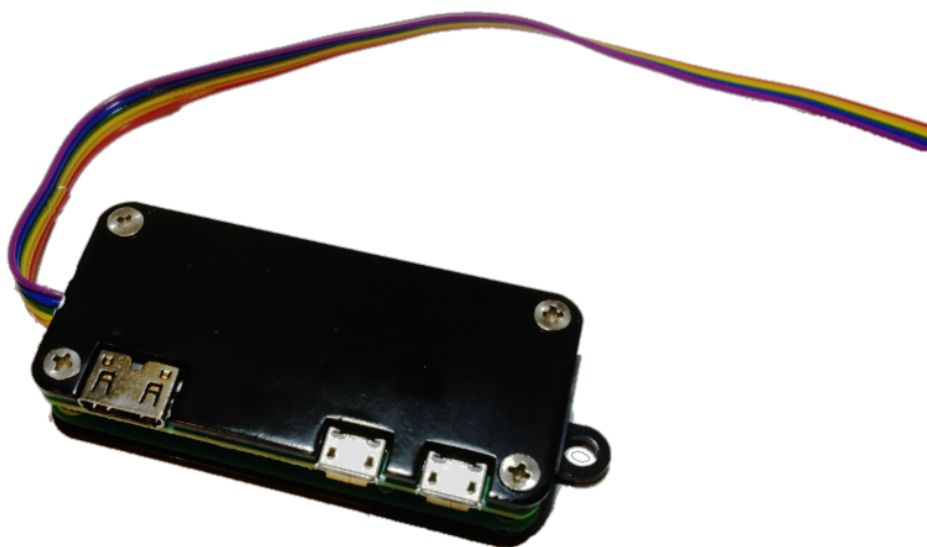
demovie 【デモビー】

デモ用動画再生機

ver.1.181123
Godaibest LLC.

概要

- micro-USB メモリに格納された動画ファイルを再生します。
- 信号入力で再生する動画を切り替えます。
- 最大 31 の動画を指定できます。
- 指定できる動画形式は mov, mp4
- 設定ファイルで動画の再生方法を設定できます。
- 本体サイズは 74×30×14
- 電源は micro-USB から 5V(2A 以上)
- 映像出力は mini-HDMI
- 出力解像度は 1080x1920(1080p) 30fps



再生動画ファイルの準備

1. 再生する動画を書き込む USB メモリを PC の USB ポートに差し込みます。USB メモリのフォーマットは「VFAT 形式」としてください。



2. USB メモリに動画ファイルを用意します。再生可能な動画ファイルの形式は下記の通りです。（動画ファイルの変換方法は「動画ファイルの変換」を参照）
 - mp4 または mov 形式
 - H.264 のインターレースなし
 - 30fps 以下
 - 解像度は 1080×1920(1080p)
3. 動画を USB メモリにコピーします。USB メモリ直下に下記のように動画ファイルを格納します。ファイル名は、オープニング用動画ファイルを「opening.mp4」とし、再生する番号に応じた動画ファイルを「01.mp4～30.mp4」としてください。ファイル構成は下記の通りです。（他の動画形式やファイル名を指定したい場合は「設定ファイル」を参照）

USB メモリ

- └ opening. mp4 ・ ・ オープニング用動画ファイル
- └ 01. mp4 ・ ・ 動画ファイル 1
- └ 02. mp4 ・ ・ 動画ファイル 2
- └ 03. mp4 ・ ・ 動画ファイル 3
- └ . . .

接続



HDMI ケーブル

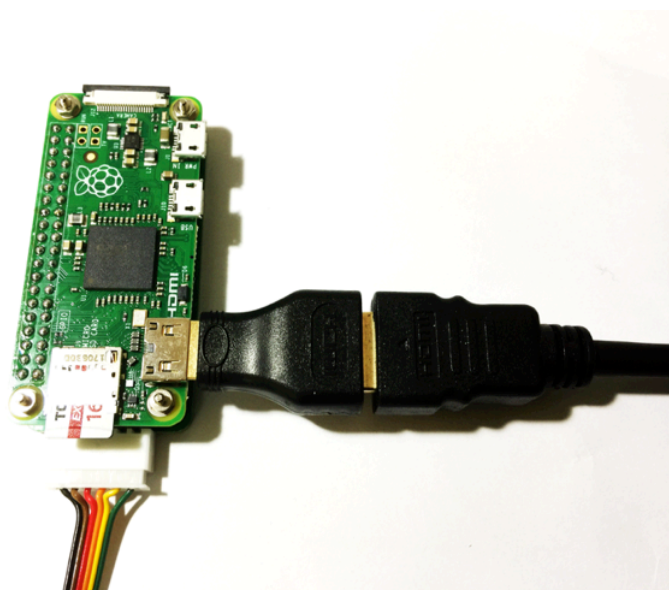
モニタに映像を出力するための HDMI ケーブルを接続します。本体の mini-HDMI 端子に接続してください。通常の HDMI 端子のモニタと接続する場合には変換アダプタを介して接続する必要があります。



mini-HDMI端子変換アダプタ

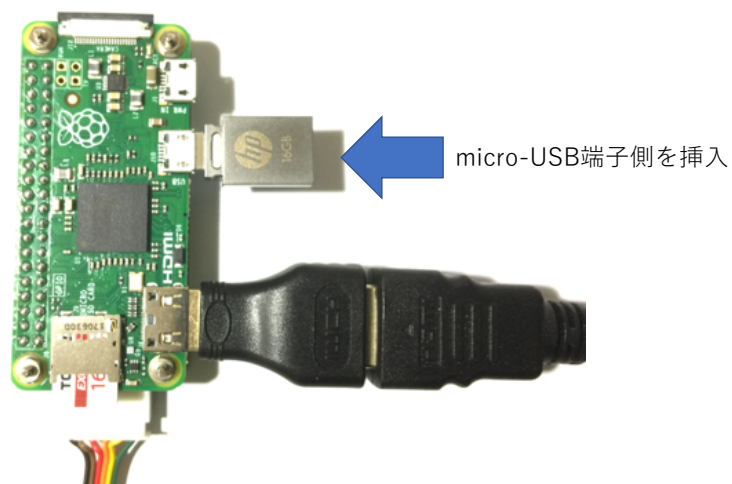


HDMIアダプタ



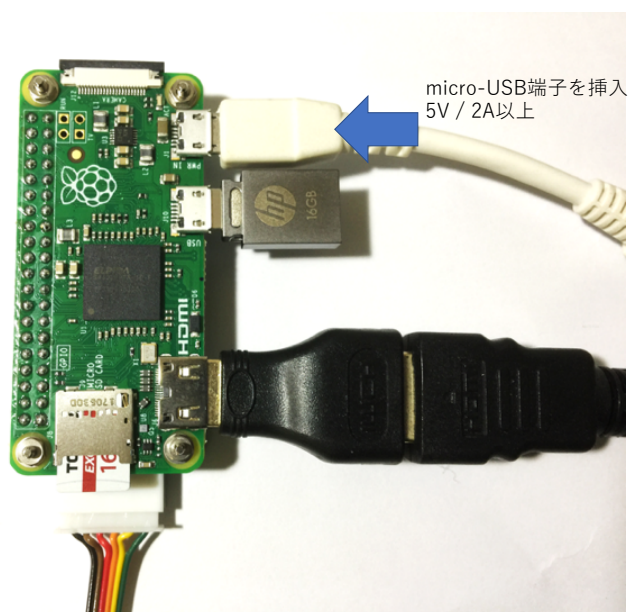
USB メモリ

再生する動画が格納された USB メモリを micro-USB 端子に接続してください。起動時に USB メモリがセットされている必要があります。（HDMI 以外の音声出力する場合には、micro-USB の USB ハブを接続し、USB メモリと USB オーディオ変換アダプタを接続してください。）



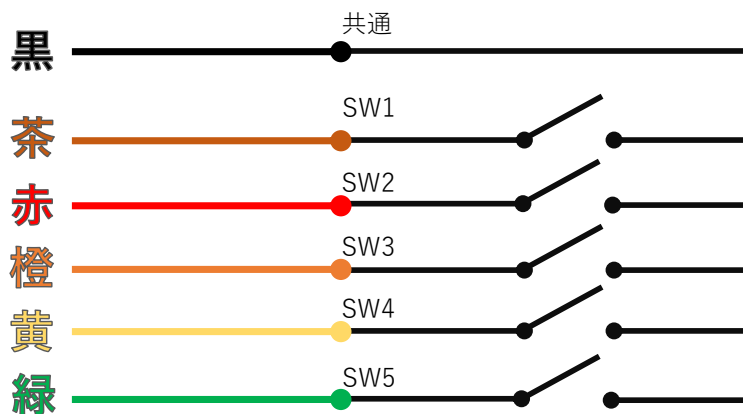
電源ケーブル

micro-USB 端子に電源を接続してください。電源は 5V で 2A 以上を入力してください。スマートフォンなどの充電用のアダプタが利用可能です。通電後、電源が ON になり、緑の LED が点灯し起動します。



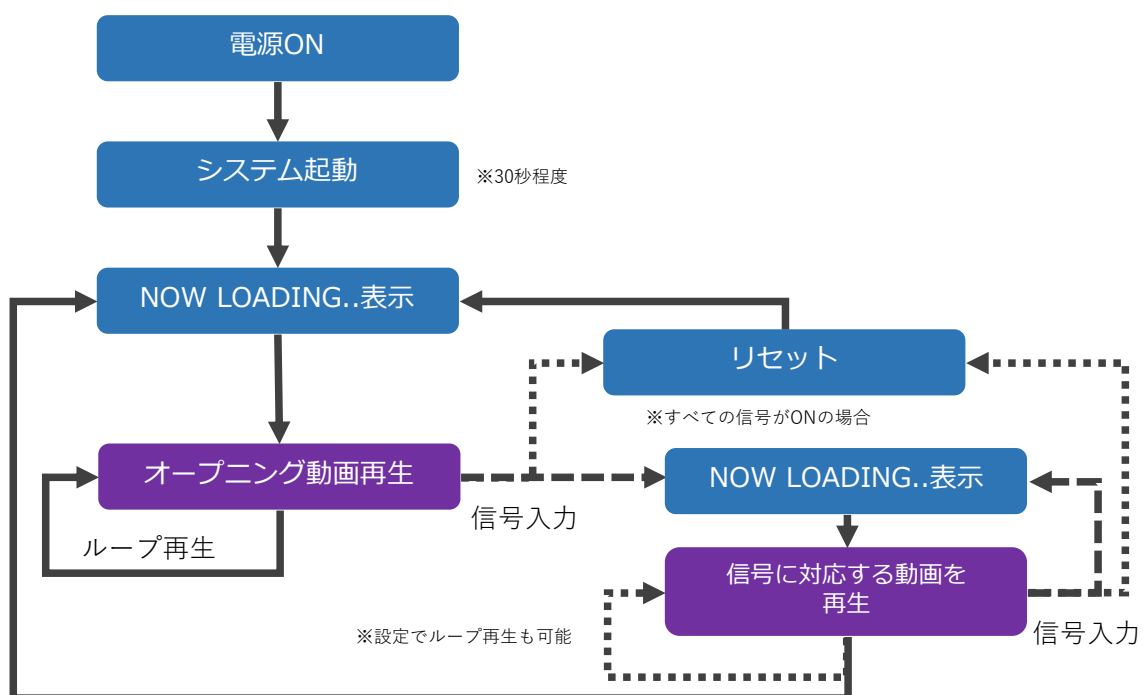
信号ケーブル

信号入力には6本のケーブルを使用します。SW1～SW5の入力内容に応じて動画を切り替えます。各端子は「共通」端子に接続することでONになります。下図の通りに信号ケーブルを接続します。（信号の状態については「信号入力」を参照）



動作

システムの動作フローは下記の通りです。



- 装置の起動から動画が再生可能な状態になるまで 30 秒～1 分程度かかります。
- オープニング動画が指定されている場合には、起動後、動画が再生可能な状態になり次第、オープニング動画が再生されます。
- オープニング動画再生時(信号指定動画再生待機時)には赤色 LED が点灯します。
- 動画が再生されて 3 秒以内は、他の動画再生を開始できません。
- 信号を入力後、動画再生まで 3 秒程度(±0.5)かかります。動画ファイルの大きさによって開始するまでの時間が異なります。
- 信号指定動画再生時には赤色 LED は消灯します。
- 信号指定動画の再生が終了時には、ループ再生が ON の場合は同じ動画がループ再生され、OFF の場合にはオープニング動画の再生が開始されます(信号指定動画再生待機状態になる)。

再生する動画は、「オープニング動画」と「信号切替動画」を指定できます。

● オープニング動画

- 起動時または信号入力切替用動画の再生待機時に自動で再生される動画です。
- デフォルトファイル名は「opening.mp4」
 - ◇ 任意のファイル名の指定については「設定ファイル」を参照
- ファイルが存在しない場合には再生しません。
- ループで再生されます。

● 信号切替動画

- 入力された信号に応じて再生される動画です。
- 設定ファイルでループ再生が設定されている場合はループ再生されます。(デフォルトは OFF)
- 信号入力方式は「直接指定」と「バイナリ指定」の 2 種類を選択可能です。
 - ◇ 直接指定の場合
 - SW1～SW5 の 5 つの信号にそれぞれ 5 つの動画を指定可能です。
 - デフォルトのファイル名は「01.mp4」～「05.mp4」です。
 - 任意のファイル名の指定については「設定ファイル」を参照
 - ◇ バイナリ指定の場合
 - SW1 から SW5 の 5 ビットのバイナリとして最大 30 の動画を設定できます。
 - デフォルトのファイル名は「01.mp4」～「30.mp4」です。
 - 任意のファイル名の指定については「設定ファイル」を参照

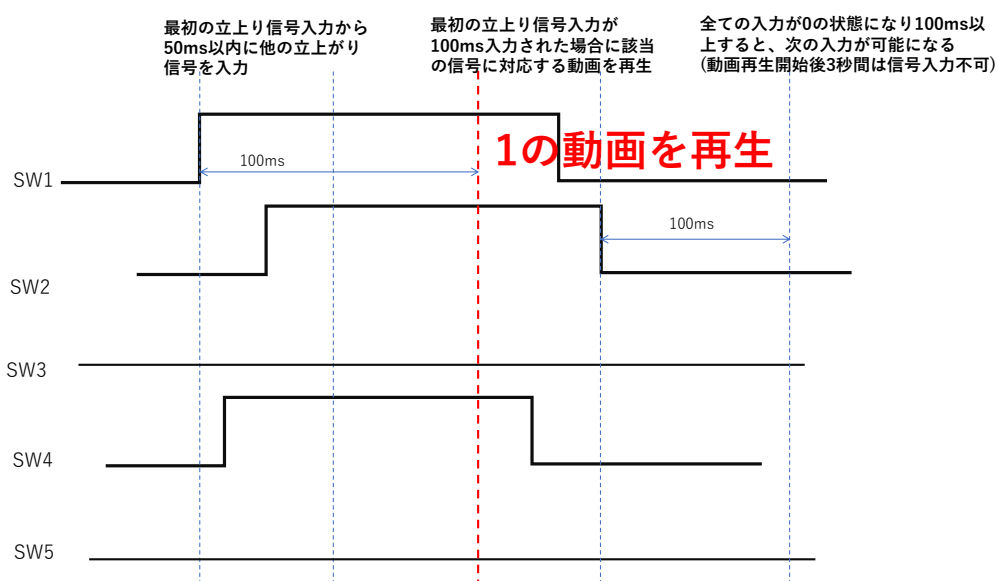
信号入力

5つのスイッチ(SW1～SW5)から動画を切り替える信号を入力します。

信号入力方式は「直接指定」と「バイナリ指定」の2種類を選択可能です。信号の入力方式はデフォルトでは「バイナリ指定」になっています。変更する場合には設定ファイルで指定します（「設定ファイル」を参照）。

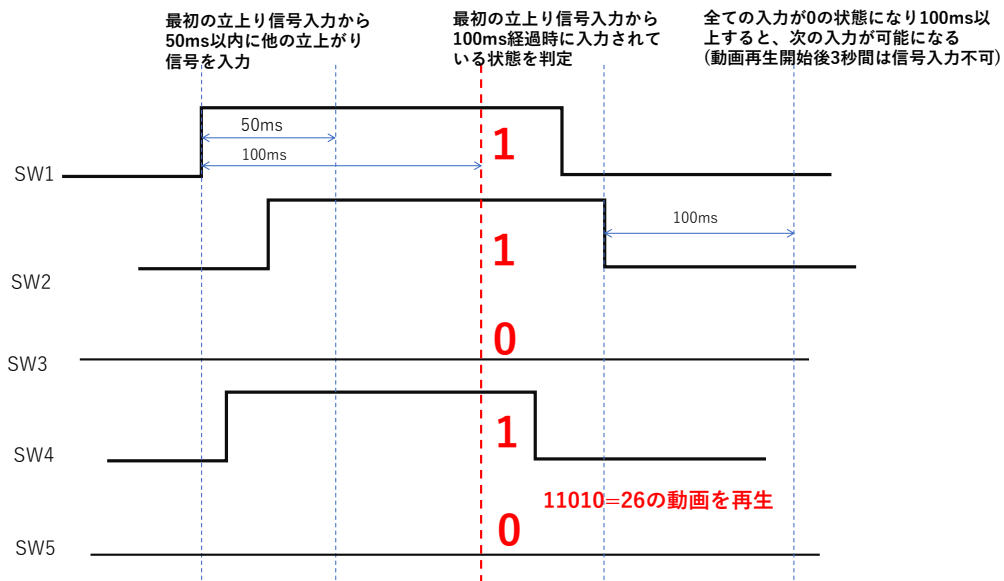
● 直接指定の場合

- SW1～SW5 の 5 つの信号にそれぞれ指定された 5 つの動画を切り替えます。
- 切り替えたい動画の番号の信号を ON にします。
- 該当番号の動画が存在しない場合には再生されません。

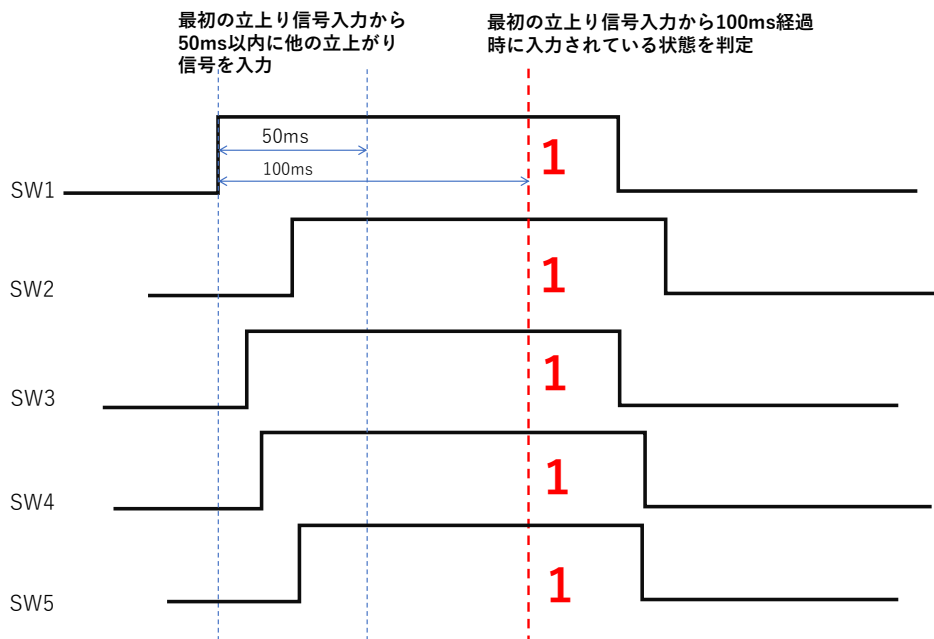


➤ バイナリ指定の場合

- ◇ SW1 から SW5 の 5 ビットのバイナリとして最大 30 の動画を指定可能です。
- ◇ 切り替えたい動画の番号に対応するバイナリの信号を入力します。
該当番号の動画が設定されていない、もしくは存在しない場合には再生されません。



全ての信号に1が入力された場合には、動画再生状態がリセットされます。リセット後には2秒以内に全てのスイッチを開放(0)にしてください。



設定ファイル

USB メモリに設定ファイル「setting.txt」が存在する場合には、起動時に設定ファイルの内容が反映されます。設定ファイルが存在しない場合には、全てデフォルトの設定で動作します。デフォルトの動作で問題ない場合は、設定ファイルは不要です。

設定ファイルはテキスト形式で、設定する項目を記述します。ファイル名は「setting.txt」としてUSBメモリの直下に配置してください。ファイルのエンコードは「UTF-8」です。半角英数で入力してください。

USB メモリ

```
└ setting.txt ・・・設定ファイル
└ opening.mp4 ・・・オープニング用動画ファイル
└ 01.mp4 ・・・動画ファイル1
└ 02.mp4 ・・・動画ファイル2
└ 03.mp4 ・・・動画ファイル3
└・・・
```

設定ファイルは、「設定タグ=設定内容」の形式で記述します。行頭に「#」がある行はコメント行として扱われます。設定項目は1行に1つ記述します。また、空行や行頭、行末、「=」前後のスペースはいくつあっても構いません。

例えば、オープニング動画のファイル名を「opening2.mov」と指定し、信号をバイナリ指定にしたい場合は、下記のように記述したファイルを「setting.txt」として保存し、USBメモリにコピーします。

setting.txt

```
# この行はコメント行
# オープニングのファイル名をopening2.movにする
FILE = opening2.mov

# 信号をバイナリ指定にする
switch=binary
```

設定タグ一覧

- **file**
 - オープニング用動画のファイル名を指定します。
 - デフォルト値：opening.mp4
 - 設定例：file = test_opening.mp4
- **file[動画番号]**
 - 信号指定用動画のファイル名を指定します。
 - デフォルト値：01.mp4～30.mp4
 - 設定可能範囲：file1～file30
 - 設定例：file9 = test_09.mp4
- **audio**
 - 音声出力先を設定します。
 - デフォルト値：hdmi
 - 指定内容
 - ◇ hdmi: HDMI 出力
 - ◇ local: USB オーディオ出力(※別途 USB オーディオ変換アダプタが必要)
 - 設定例：audio = hdmi
- **vol**
 - 動画の再生音量を設定します。
 - デフォルト値：500
 - 設定可能範囲：0～1000 の整数
 - 設定例：vol = 650
- **switch**
 - 信号入力モードを設定します。
 - デフォルト値：binary
 - 設定内容
 - ◇ individual: 直接指定
 - ◇ binary: バイナリ信号指定
 - 設定例：switch = binary
- **loop**
 - 切替用動画のループ再生を設定します。
 - デフォルト値：false
 - 設定内容
 - ◇ true: ループする
 - ◇ false: ループしない

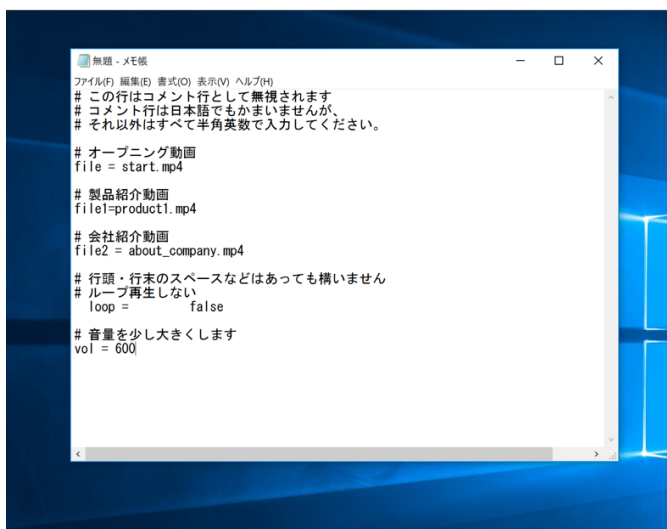
- 設定例： loop = false

ファイル名に利用できる文字

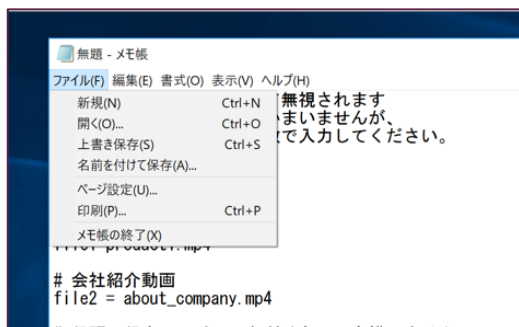
- 半角アルファベット大文字：A～Z
- 半角アルファベット小文字：a～z
- 半角数字：0～9
- 半角記号：「-(ハイフン)」 「_(アンダーバー)」 「. (ドット)」

Windows の場合、設定ファイルは「メモ帳」で作成できます。例として、オープニング動画を「start.mp4」、動画 1 に「product1.mp4」、動画 2 に「about_company.mp4」を設定し、音量を少し大きく「600」に、ループ再生しない場合の設定をしてみます。（それ以外の設定は全てデフォルトになります）

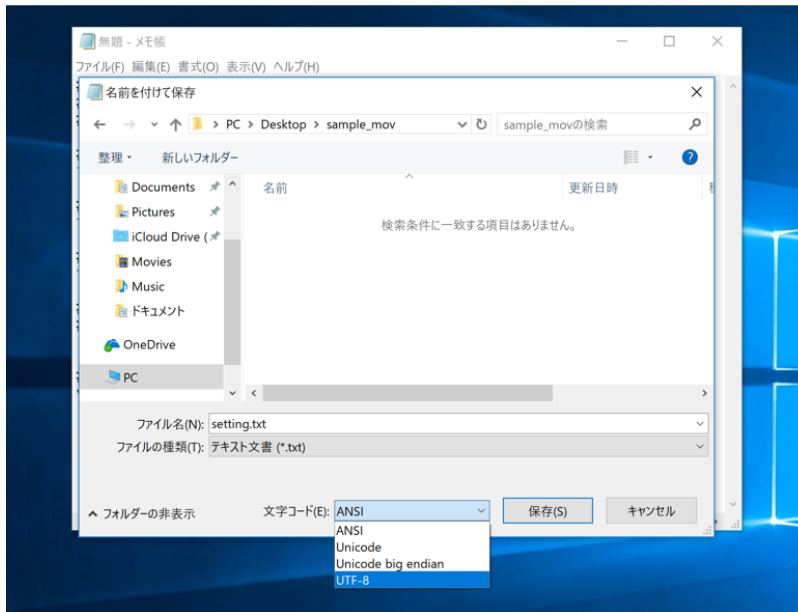
1. 「メモ帳」を開きます。
2. 下図のようにファイルに設定したい内容を記述します。



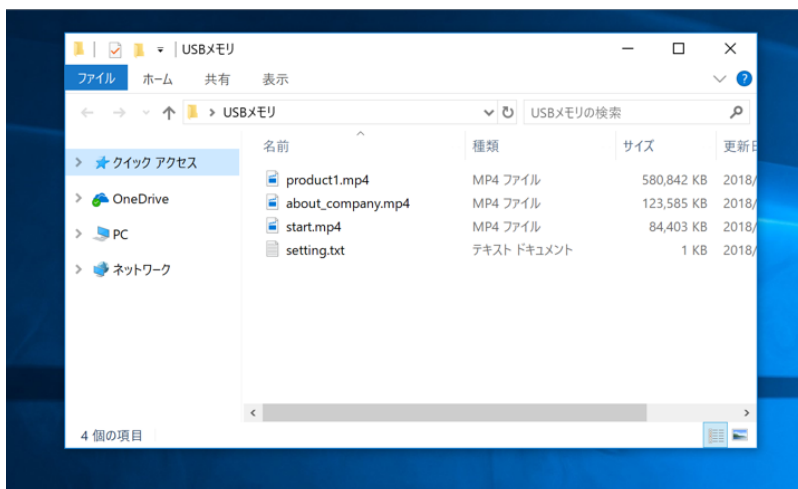
3. ファイルを「名前を付けて保存(A)...」を選択します。



4. ファイル名を「setting.txt」、ファイルの文字コードを「UTF-8」に設定して保存します。



5. 保存したファイルを USB メモリにコピーします。



動画ファイルの変換

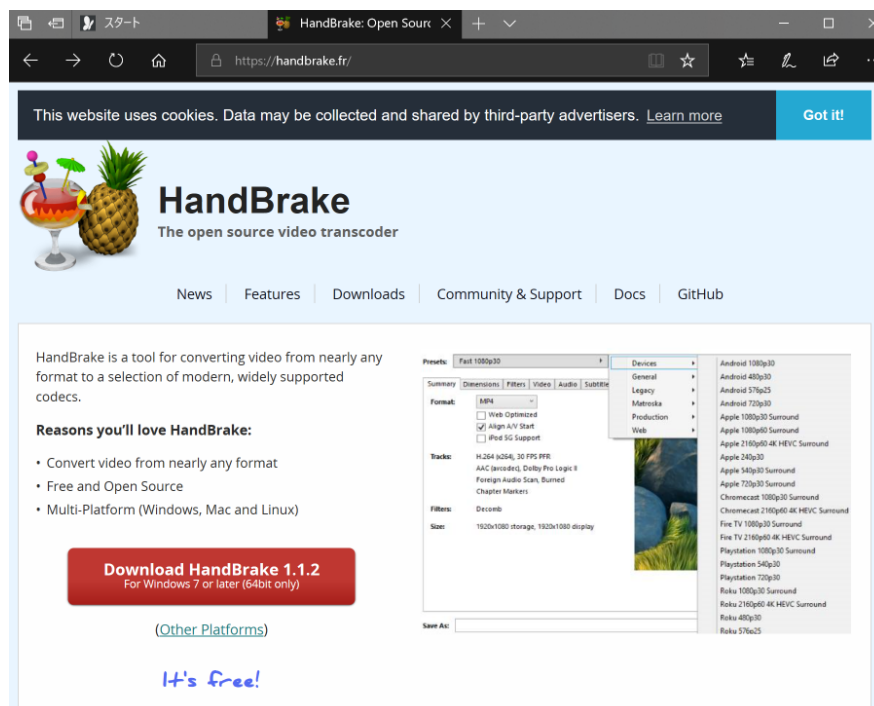
demovie で再生可能な動画ファイルの形式は下記の通りです。

- mp4 または mov 形式
- H.264 のインターレースなし
- 30fps 以下
- 解像度は 1080×1920(1080p)以下

これ以外の形式の動画を再生するためには動画の形式を変換する必要があります。動画の形式の変換は様々なソフトで行うことができますが、ここではフリーソフトの「Handbrake」を利用した方法を説明します。Handbrake はオープンソース・ソフトウェアで、Windows、MacOS、Linux で動作可能です。

1. Handbrake のダウンロード

Handbrake のホームページに「<https://handbrake.fr>」アクセスし、「Download HandBrake」のボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。



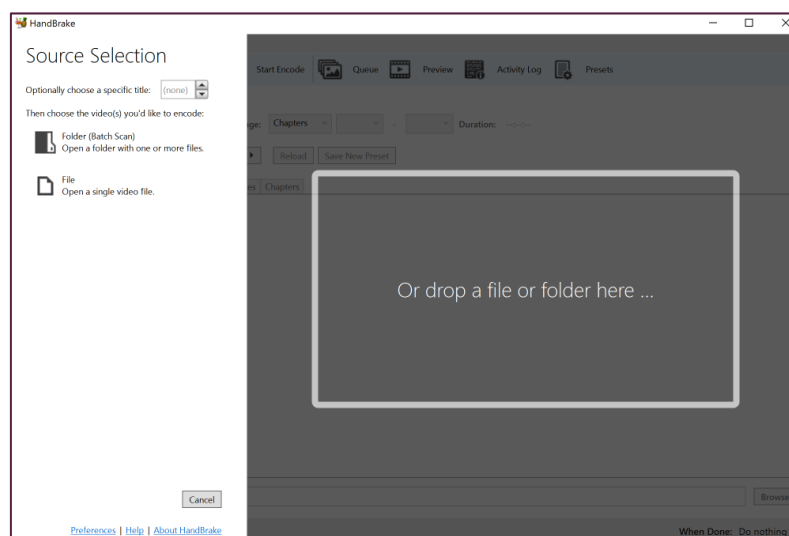
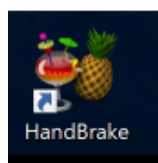
2. Handbrake のインストール

ダウンロードしたインストーラを起動し、指示に従ってインストールします。



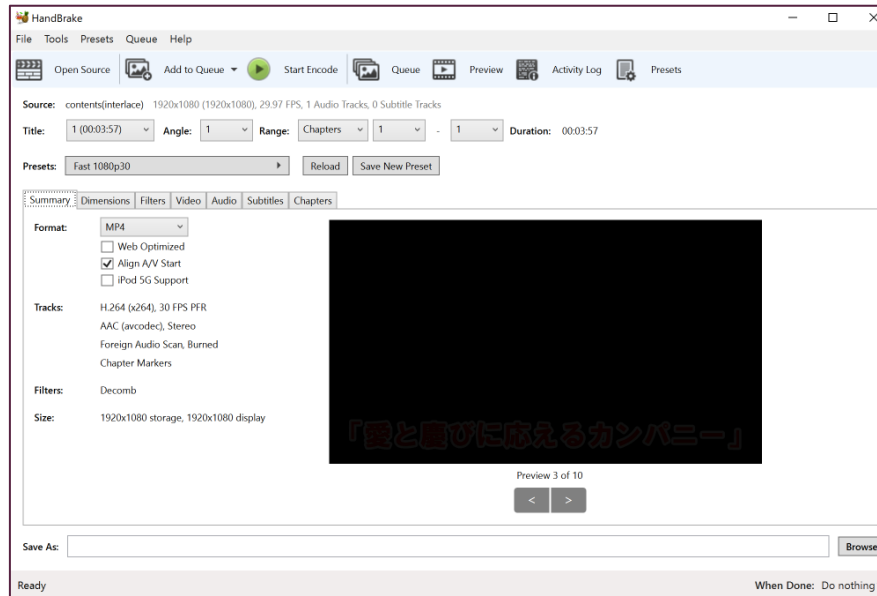
3. Handbrake の起動

インストールされた HandBrake を起動すると、下記の画面が表示されます。



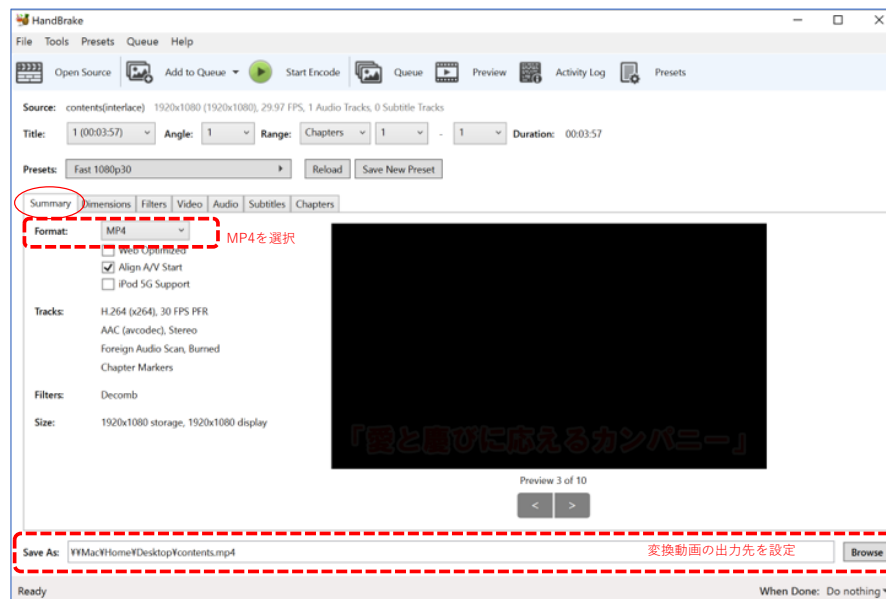
4. 動画ファイルを開く

起動時後の画面上の四角の枠の中に変換したい動画をドラッグ&ドロップすると、以下の画面が表示されます。

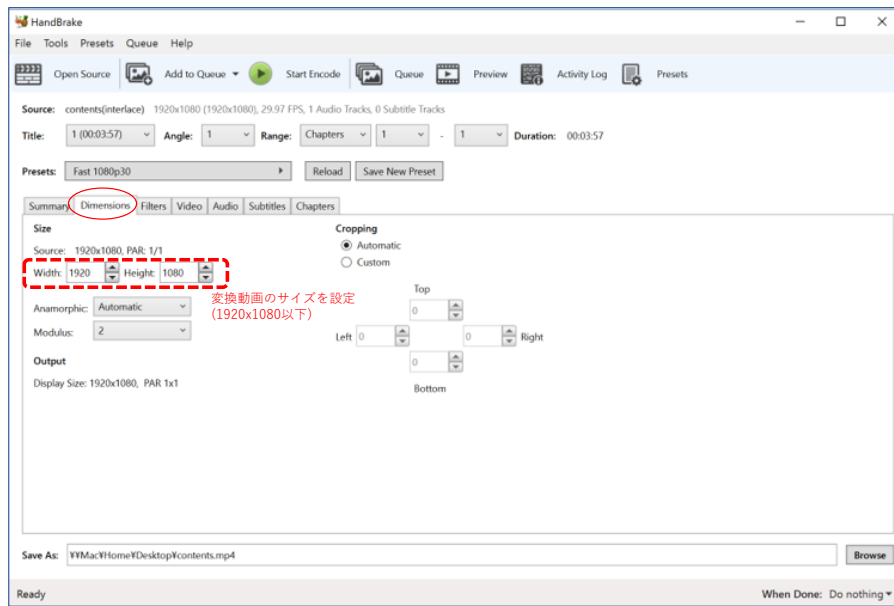


5. 設定する

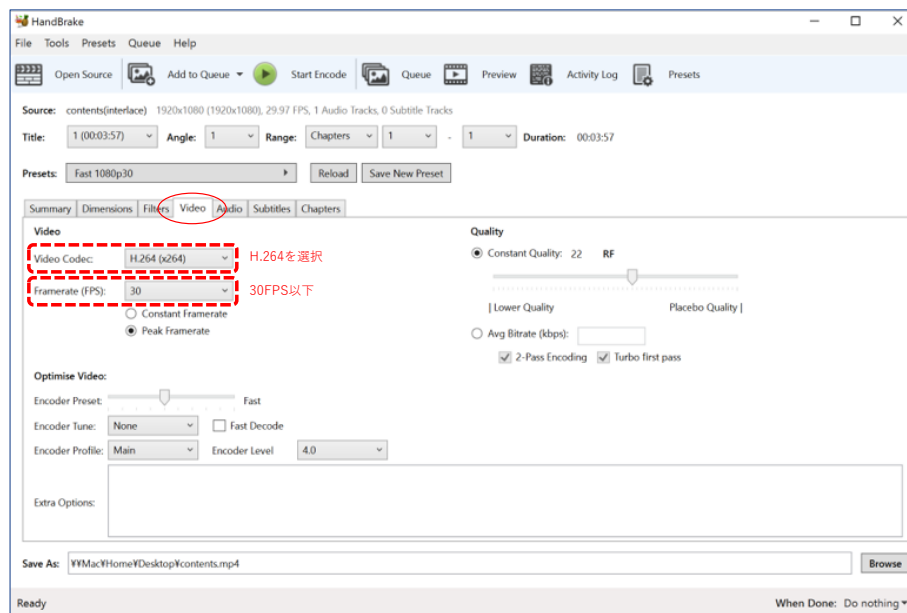
「Summary」タブを選択し、出力動画形式と出力先を指定します。



「Dimensions」タブを選択し、出力サイズを指定します。

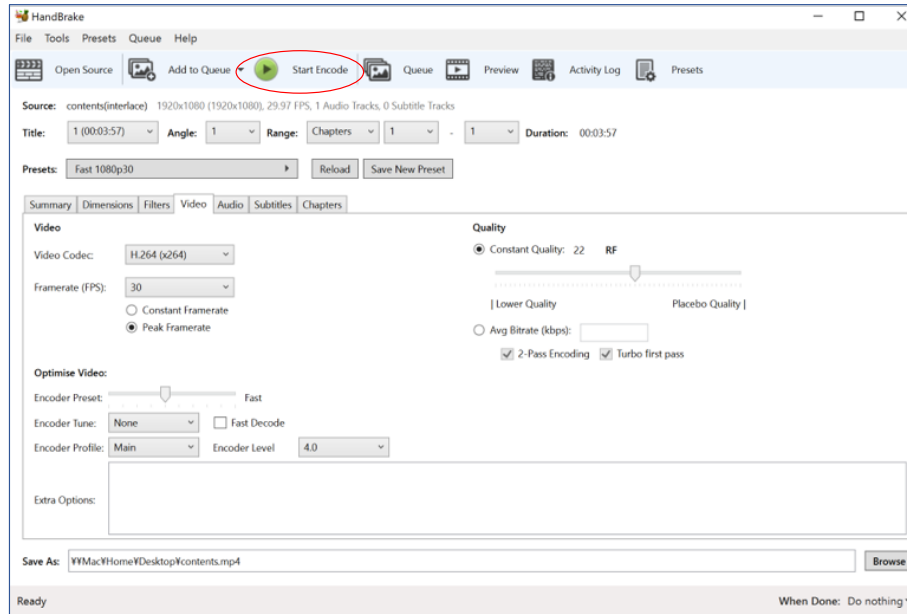


「Video」タブを選択し、コーデックとフレームレートを指定します。



6. 変換する

「Start Encode」ボタンを押すと動画の変換が開始されます。



画面下のインジケータに変換の進捗状況が表示されます。「Queue Finished」と表示されると変換が終了し、指定された出力先に変換した動画が出力されます。

